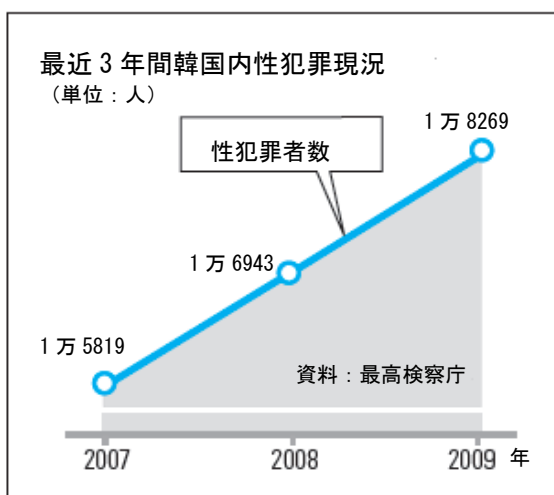




[幸せな贈り物](#)



ジェノビーズ・シンドローム(Genovese Syndrome)

1964年3月13日、アメリカのニューヨークに住む20代の女性キティ・ジェノビーズは、夜勤を終えて家に帰る途中で精神異常者につかまってナイフで刺され殺されました。彼女は35分間も残酷に滅多切りにされて死んだのですが、だれも出て助けてくれる人がいなかったのです。この事件を目撃した人がいなかったわけではありません。おおよそ38名もの人が、自分の家の窓から殺人の場面を見守っていました。しかし、だれ一人出て制止するとか、警察に届けたりしなかったのです。他の人々も現場を見ているから、だれかが警察に届けると思ったからです。このように、目撃者が多いほど、責任感が薄くなり、個人で感じる責任感が少なくなって行動しなくなる現象を「ジェノビーズ・シンドローム」と言います。最近、私たちの社会で発生している凶悪犯罪の場合にも、このような状況が起きています。狭い路地の間で小さな住宅がひしめきあって並んでいる西大門区の弘恩洞で、10代の子ども達が6月9日から四日間、女子中学生の友だちを残忍に殺した事件も一つの事例です。隣の住民A氏は、事件当時、夜おそくまで起きていて変な音を聞いて出たら、若者が逃げだそうとする被害者の女学生を暴行して、家に引っ張って行く場面を見たと言いました。「食べ物も

性犯罪者急増

あなたの子どもは安全ですか

与えているのになぜ逃げだすのかと、やたら殴ってまた家に連れて行ったのです」しかし、彼は被害者を助けてあげようと思ったり、警察に届けたりしませんでした。悲鳴を聞いた他の住民も同じでした。チョンボク群山の小学生集団性犯罪事件も、隣りの人々の関心が薄い事件でした。お母さんが家出したうえに、お父さんさえ病気で亡くなって、数年前から弟とふたりきり暮して来た小学校6年生のAちゃん。家出した中学校3年生のキムくんたち3人は、昨年8月から今年の4月まで、Aちゃんをおおよそ七回にわたって集団で性的暴行をしました。のちには、Aちゃんの家主になりすまして、性的暴行を日常的にしていました。見知らぬ子ども達がAちゃんの家に入り込んでいたのですが、隣りの人々は問題視しなかったのです。

警察庁によれば、韓国の13歳未満の児童の性犯罪被害は2007年1,081件、2008年1,220件、2009年1,017件で、毎年1,000件を上回っています。2008年の全世界統計をよく見れば、いん乱、賭博、猟奇、暴力と係わる有害サイトは345万件もあり、この中でアダルトサイトが98.31%なのですが、その中の韓国サイトは38万件で3位を占めています。2009年Googleでは、アメリカで一番みだらな都市10ヶ所を選んだのですが、1位がバージニア州のハートランドで、ハイテク産業団地が密集している先端都市です。2位は、カリフォルニア州のアーバイン、そこは、いわゆる8学群として広く知られた教育都市です。韓国の長期留学生たちも、たくさん居住しているところで、生命科学とコンピューター産業団地が密集していて、アメリカでは住民たちの学歴が一番高い所として知られています。9位には世界的な名門大学ハーバードとMITがあるボストンが選ばれていました。一般の人たちの予想とは違って、

高学歴のエリートたちが低学歴者より、もっとみだらだという事実が現われました。

いつから人間はいん乱と犯罪の奴隷になったのでしょうか。そして、その解決策は何でしょうか

はじめから魚は水で生きて、木は地で生きるように創造されました。そのように、人間は神様とともに生きるように創造されました。この創造の原理を離れては幸せではありません。しかし、人間は悪魔(サタン)の誘惑を受けて神様を離れるようになり、その結果、人間の運命はサタンに左右されて、罪と呪いと苦しみの中に陥るようになりました。わけのわからないむなしさや、不安が訪れて来て、幸せを捜してあがくのにも、結局は、繰り返す墮落と犯罪の中で、迷って、結局、死んだ後にはさばきを受けて、永遠の地獄に落ちるようになりました。善行や教育、哲学、宗教は良いことですが、このような人間の本質的な問題を解決することはできません。この世には、悪魔をなくすことができる英雄はいないのです。しかも、人間の罪を解決することができる義人もいず、永遠のいのちを回復させてくれる人もいません。これは霊的な問題ですから、どんなものでも解決することができないのです。

それで、神様は人間が解決することができない原罪、その結果で訪れた呪いと災い、運命と運勢、目に見えないサタンの働きを解決するキリスト(Christ)を送ってくださると約束されました。キリストは、人間が神様に会う道になって(ヨハネの福音書 14:6)、すべての罪と呪い、運命から解放される道になってくださいました(ローマ人への手紙 8:2)。また、サタン(悪魔)のしわざを打ちこわして、その手につかまって奴隷のようになっている者たちを解放する道となってくださいました(ヨハネの手紙第一 3:8、ヘブル人への手紙 2:14~15)。

このキリストがまさにイエス様なのです。それなら、どのようにすれば、私のすべての問題、家庭問題、子ども問題から解放されて救われることができるのでしょうか。イエス様をキリストとして信じて私の心に受け入れれば良いのです(ローマ人への手紙 10:9~10、ヨハネの福音書 1:12)。この時、あなたとあなたの家系のすべての不幸の問題は終わるようになります。神様の子どもになって、本当に平安と喜びを回復するようになります。神様は、聖霊でああなたの中に住まれ、あなたのすべての生活を治めて導いてくださいます。神様が救われたあなたの生活の責

任を完ぺきに負ってください。神様の子どもは、イエス・キリストの御名で、なんでも神様に祈ることができ、神様はかならず、ご自分のみこころのとおりにお答えくださいます。イエス・キリストの御名の権威で、サタンのすべての勢力を縛り上げて折ることができます。問題のため、たくさん苦しい事が生じる時、まさにイエス・キリストの御名で祈ってみてください。あなたの中におられるイエス・キリストの権威で、あなたを落胆させ、怒らせるサタンの勢力は崩れるでしょう。また、今からあなたは天国の御座の祝福である天の軍勢、御使いの助けを受けて、かならず勝利するようになっています。そして、永遠のいのちを受けた天国の民として、そのすべての祝福を味わうことができるのです。死んで天国に行くことは当然のことで、この世で生きながらも、行く所ごとに神の国の祝福を味わうようになります。もし、失敗をして罪を犯しても、罪を告白して悔い改めれば許してください。災いと呪いは、もう終わりました。あなたは、イエス・キリストの福音で世界を征服して治めることができる権威を受けるようになります。神様の子どもは、神様の導きと御使いに守られるようになっています。あなたと、あなたの子どもを本当に守ってくださる方は、だれになるべきでしょうか。

今、この時間に、あなたはイエス・キリストを受け入れることで、神様の子どもになって、すべての呪いと不幸から永遠に守られることができます(ヨハネの黙示録 3:20、ヨハネの福音書 5:24)。真実な心で下の祈りをすれば良いのです。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の父なる神様、私は罪人です。神様を離れてサタンの支配の下に縛られて、奴隷になりながら生きてきました。しかし、今、この時間、イエス・キリストを私の救い主、私の主人として受け入れます。イエス・キリストが神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ちこわして、すべての罪と呪いと災いから私を解放されたキリストであることを信じます。今、私の中に入ってきて私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

主イエスを信じなさい。
そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます
(使徒の働き 16:31)

新しい開始Ⅲ 世界化

人を探しています さて、ダマスコにアナニヤという弟子がいた。主が彼に幻の中で、「アナニヤよ」と言われたので、「主よ。ここにおります」と答えた。(使徒 9:10)

今から 105 年前の 1905 年 2 月 23 日、アメリカ、イリノイ州のシカゴのある鉾山技師の事務室に四人の男が集まりました。弁護士ポール・ハリスは、荒廃していく社会に心を痛めて、お互いに助けあって社会に貢献するクラブを作ることにしました。そのクラブが、すなわち今日、韓国で 5 万 3 千人の会員がいて、200 あまりの国家で 120 万人が活動する **ロータリークラブ(Rotary Club)** です。

2 年後の 1907 年にイギリスであったことです。ロバート・ベーデン＝パウエルという軍人が、弱くて墮落して行く青少年たちを見ながら「青少年を育てよう。軍隊に来ればもう遅い。軍隊に来る前に、青少年を訓練しよう」という考えで始まったのが **ボーイスカウト(Boy scout)** です。ところで、100 年経つ間に 149 ケ国に伸びて行って、現在は数を数え切れないほど、多くの青少年が会員加入をしています。

1917 年、アメリカであったことです。ダラスのメルビン・ジョーンズによって「私たちが産業人らしく社会のために福祉の働きをして生きよう！」という主旨で始まったのが、今日 130 万人の会員を確保して多くの国に大きな影響を与えている **ライオンズクラブ(Lions Club)** です。

1952 年アメリカのケンタッキー州でサンダースという人が車を運転する人々が行きながら簡単に食べることができる **フライドチキン**を開発して提供したのですが、それが今は全世界 1 万個を超える売場で年間 7 千億円を超える収入をあげている **KFC** です。

このように必要な所で必要な仕事だけしても、世界化の祝福を味わうようになります。この時代に神様が重職者たちに与えられた最高の祝福が、すなわち世界化です。

重職者の三つの Key 神様のみことばが私にどのように成就するのか、実際に祈りがどのように成り立ち、答えを受けるのか、その証拠を持って証人の生活を、毎日、毎日、私のみことば、私の祈り、私の伝道で確認して味わうことを福音の **個人化** と言います。今日のみことば、今日の伝道、今日の祈りが何なのか捜してみれば、必ず答えは来るようになります。その証拠を言う人を証人と言います。このようになるとき、私とともにいる人々に人生の答えと方向を与えることができるようになります。また、私の周りにいる重職者、一般信徒、新しい家族(新来会者)、専門家、私たちの次の世代に神様が願われる人生の方向と伝道計画を知らせてあげることができるようになります。そして、現場に備えられた使命感を見つけて福音の祝福を味わうように手伝ってあげる時、その人が弟子になって、その弟子を通して自然に開かれるのが地域を生かす地教会です。これが **弟子化** です。そのような弟子たちがダマスコのアナニヤのように全世界の一千萬の現場に立てられる日、**世界福音化**の働きがなされます。重職者は、世界化の主演です。

神様の子どもの 五つの確信

- 1 **救いの確信**：イエス・キリストを信じて受け入れた私は、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、I ヨハネ 5:10~13)
- 2 **祈り答えの確信**：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 **導きの確信**：神様は聖霊で私の中におられ、私のすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
- 4 **赦しの確信**：私のすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(I ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 **勝利の確信**：救われた私は、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、I ヨハネ 5:4)

神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

自殺 したいですか？

ある人が自殺を試みる人生の瀬戸際まで追い込まれた。報道関係の出身である彼が自殺まで考えたことは、彼の波乱万丈の人生のゆえだった。「一人が一生、生活しながら、一度経験しても大変な脳手術、離婚など、大きな事件を何回経験して生きるのかと言いたいです。人生の最後の勝負のかげだと思ったフランス外人部隊の入隊さえ挫折して、結局、選択したのが自殺を試みることでした」

韓国が IMF の寒波を経験した 1999 年の大変寒い冬。あまり飲めない焼酒を 2 瓶飲んで漢南大橋から漢江の水で飛びおろしようとした瞬間、道を通ったある中年の男性が「今、飛びおろれば凍え死ぬでしょう。ちょっと待って暖かい春になって飛びおろたら」と言ったということだ。死のうとする人を止めるのではなく、死の具体的方法を知らせてくれる「凍え死ぬ」という言葉に、瞬間的に笑いが出た。結局、こんな方法しかないという気がしていたのだが、生死の間に立った彼の考えが変わった。「自殺」をやめて「生きよう」という気になって心を決めたのだ。

この人が最近、中国最大の長春映画製作所を保有した国営映画製作所であるチャンヨン集団の有限責任工事と映画製作及び TV ドラマに対する独占的地位の事業合作契約を締結した (株) 韓中エンターテインメントのジン・ Chol ホ代表 (39) だ。ジン代表は、その事を経験した後、性格も楽天的でユーモアが豊かな CEO として生まれかわって、成功的な第 2 の人生を送っている。

率直に複雑な人生をやさしく終わらせる簡単な方法が自殺だ。ただ、そのときの苦痛さえ堪えれば、意識することができない世界へ落ちこむようになるだろうと、愚かな人々は手軽く自殺を選択する。しかし、その背景には簡単ではない、多くの考えと理由が存在している。言い訳がない墓はないということだ。多くの場合、経済的状況の難さによって、また、さびしさと人生に対して生きる目的がない時、人生が疲れてだるく、難しい時には自殺を選ぶ。長期的な不況で苦しみを経験する中で、個人化されたインターネットの発展は、家庭の経済的状況、アイデンティティを失っていく人々に選択の幅を狭くする原因を提供している。

ヨーロッパで、多くの青年を死に追いやった悲観

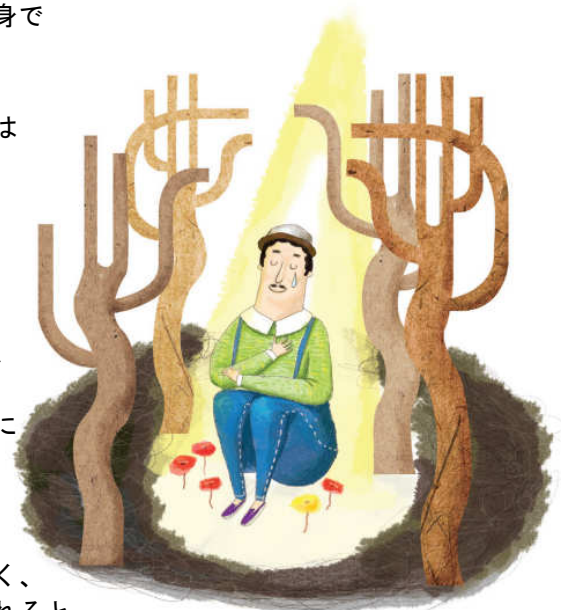
主義の哲学者ショーペンハウアーは、欲望と執着から自由になると幸せになるというメッセージを伝えた。「人間は生まれるということ自体が罪で、生まれたら早く死ぬことが幸せで、早く死ぬことができなかったら自殺しなければならない」と言って、厭世的に自殺を礼賛した。しかし、彼は老いても冷水摩擦をして、枕元にはピストルを置いて危険を避けるなど、比較的いつまでも幸せを

追い求めて独身でよく暮らしたのだった。

だれでも人は息をする間、人生を選択する。生きることを選択するのをあきらめれば、その時からは死のシナリオに入るようになるのだが、死は選択によることでなく、神様から選ばれれば死ぬことができる。

ただ、その神様がいのちの神様なのか、死の神なのかという差であるだけだ。自殺を選択することは個人でも、最後の死の瞬間になってはじめて死の神にだまされたということを感じる時は、時間があまりにも遅いということが分かるようになる。もし長い間、笑わない隣の人がいるなら、一応、注意を傾けて細かく見よう。自殺は死で死に至るようにするが、死ななくて死ぬことができるいのちを与える福音があるから、その福音だけが人生を笑うようにさせるのだ。

チョン・ヒョングク牧師 (福音コラムニスト)



イラスト—キム・チョン